

平成 26 年度ウミガメ産卵期におけるウミガメの保護及び 利用適正化業務（環境省 MW 事業）

1. 事業実施団体

NPO 法人屋久島うみがめ館

2. 事業内容

①観察ルールの普及啓発活動及び利用実態調査

場所：四ツ瀬浜

期間：5月10日～8月31日（期間中の50日間）

時間：19:30～23:30（4時間）

人数：2人程度

②ウミガメの救出活動

場所：いなか浜、前浜、四ツ瀬浜

期間：5月10日～7月31日（74日間）

時間：約2時間

人数：1～3人程度

3. 結果

①観察ルールの普及啓発活動及び利用実態調査

1) 利用者の動向

- ・利用者数は54人（うち観光客36人）。
- ・昨年と比較して、利用者は42人増加。
- ・四ツ瀬浜がウミガメの上陸、産卵する場所であると熟知した地元のガイドや宿の方が客を連れて訪れたため、四ツ瀬浜の利用者が増加した。
- ・移住者（転勤者含む）も見学に訪れた。
- ・22:00～22:30までの利用者が約半数を占めた（26人）。

3) 不適切な利用

- ・19:30以降の利用者に観察ルールの説明を行ったところ、49名の利用者に「浜への自由な立入りをご遠慮頂いていること」に協力して頂けなかった。
- ・また、8名の利用者に「光は消すこと」と「むやみに歩かないこと、騒がないこと」、3名の利用者に「カメラ、ビデオ撮影は行わないこと」に協力して頂けなかった。

②ウミガメの救出活動

1) 救出頭数

- ・救出したウミガメは36頭（いなか浜：25頭、前浜：7頭、四ツ瀬浜：4頭）。

2) 事故の原因と頭数

- ・岩場にはまる …………… 15頭
- ・砂浜の川（溝）にはまる …………… 11頭
- ・人工構造物（護岸や突堤）からの落下、はまる ……… 8頭
- ・浜垣に登れない（いなか浜） …………… 2頭

3) 特記事項

- ・いなか浜において、台風8号の影響により例年より砂が移動し岩場が露出したことで、岩場にはまるウミガメが13頭いた。
- ・また、台風の影響により砂浜を横断する川が増大したことで、川にはまるウミガメが10頭いた。
- ・前浜においては、大雨や台風の影響により砂が流出し消波ブロックが露出したことで、消波ブロックにはまるウミガメが7頭いた。